

平成23年度スポーツ観光人材育成調査業務

目的

スポーツと観光の融合により、交流人口の拡大を図り地域振興に繋げるスポーツ観光は、現在官民を問わず様々な取り組みが行われている。しかしながら、その取り組みは各地域・企業などが独自に行っているものが多く、実施主体間におけるノウハウの共有がなされていない。今後、各地において自主的かつ自立的な取り組みを促し、継続的なスポーツ観光を推進するため、広く先進事例を共有し、スポーツ観光を担う人材の育成を図ることとする。

事業

研修等による
人材育成プログラム

各地の
先進事例調査

スポーツ観光を通じた
復興支援

「スポーツ観光人材育成
シンポジウム（仮称）」
での普及・啓発

上級

既にスポーツ観光に積極的な層

- 【目的】 既にスポーツ観光に力を入れて取り組んでいる地域や競技団体に対して、有識者を派遣し、更なるスポーツ観光の推進に繋げる。
- 【時期】 2012年1月～2月頃(2泊3日)
- 【対象】 自治体、観光協会及びスポーツ関係団体 【募集数】 1地域
- 【地域】 募集により選定
- 【内容】 スポーツ観光の有識者を地域に派遣し、その地域の特性に合わせたスポーツ観光のあり方を提案

中級

スポーツ観光に取り組み始めた層

- 【目的】 既にスポーツ観光に取り組んでいる又はこれから取り組もうと考えている人に対して、先進事例を参考に自身のフィールドで具体的に展開するための実地研修を行う。
- 【時期】 2011年11月17日～18日(1泊2日)
- 【対象】 旅行会社、自治体、観光協会、スポーツ関係団体、元アスリート等 【人数】 30名
- 【会場】 鳥取県西部地域
- 【内容】 鳥取の先進事例紹介、実地見学、グループディスカッション など

初級

スポーツ観光への認識が薄い層

- 【目的】 スポーツ観光に馴染みが薄い層に対して、その意義や効果等スポーツ観光の基礎知識を提供し、スポーツ観光に携わる人を増やす。
- 【時期】 2011年10月～12月の平日(半日)
- 【対象】 旅行会社、自治体、観光協会、スポーツ関係団体、元アスリート等 【人数】 各会場30名～50名程度
- 【会場】 札幌、秋田、東京、名古屋、大阪、高松、広島、福岡
- 【内容】 有識者による講演、観光庁施策説明、座談会 など